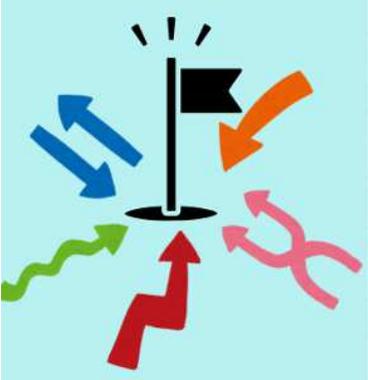


MY GOAL

本時の目標に対する
自己目標



Today's Goal テーマを理解し、自分の意見を整理して書くことができる。

Practice 次のテーマに対して、自分の意見を5文で書いてみよう。(20分)

- A: 先生や友だちに頼らず、教科書・ノート・ファイルだけでミスなく書くことができた。
- B+: 先生や友だちに頼らず、教科書・ノート・ファイルだけで書くことができた。(ミス1文)
- B: 先生や友だちに頼らず、教科書・ノート・ファイルだけで書くことができた。
- B-: 先生や友だちに聞きながら、5文書くことができた。
- C: 先生や友だちに聞きながら、1文~4文書くことができた。

My Goal

手書きを終えて self check

Teacher's check

「本時の目標」に対応して指導者が「My Goal」を5つ設定します。授業の最初に生徒に提示して、生徒は5つのうちから、自分が達成できそうなMy Goalを1つ選びます。生徒は授業の途中で最初に決めたMy Goalを変更することもできます。

実施学級の生徒全員が「自己目標を選べたことは、自分の学習にとってよかった」と回答!!!

My Goalには、授業で生徒が行う具体的な行動や学習活動のヒントになるような言葉を書きます。生徒がMy Goalを読んだときに1時間の授業の流れがある程度イメージできるようにすることでスムーズに学習活動を始めることができます。また生徒が授業後にMy Goalの達成度を振り返ることで、次の授業でのMy Goalの設定の指標にすることもできます！

☑Check ()

- ストーリーの要点をまとめることができた。
- クイズの問題と答えを作ることができた。
- クイズのスライドを作ることができた。
- クイズを作るときに自分が使いやすい教材を活用することができた。
- クイズを出題するための練習をすることができた。
- 他の人が作るクイズを予測することができた。

DISCのヒント①

【☑Check】(My Goal作成のヒントに…) My Goalは、DISCを行う中で徐々に熟成していきます。学習者が授業でどのMy Goalを選択していたか、またその達成度はどの程度だったのかを確認し、次の授業でのMy Goalをより学習者の実態にあったものにして進化していきます。学習者のMy Goalの達成を確かめるために、授業の最後には必ず、複数個のチェック項目を作り、学習者・指導者の両方が授業での目標達成具合を確認できるようにしたいですね！

☑Checkで、本時の目標達成へ向かうための学び方を示し、それらをいくつ達成するかをMy Goalとして学習者が選択できるようにするMy Goalの作り方も1つの方法です。学習者の特性や実態のアセスメントが重要です。



「読む活動」で学び方を選ぶ 選択肢

中学校 英語科 「音読」の場面で…

教材：教科書本文の見本が入った「音声シート」
→速度を変更することができる。
ヘッドセットを使用し個人で何度も聞き直すことができる。



- ①「録音シート1枚目」(教科書の本文)
- ②「録音シート2枚目」(付箋で新出単語を隠したシート)
- ③「録音シート3枚目」(ストーリーの中心となるフレーズを隠したシート)
- ④「録音シート4枚目」(日本語で本文の要約がされたシート)
- ⑤「録音シート5枚目」(本文の場面スライド)

時間内に自分ができるところまでのシートに英語を録音し提出する。



時間内に自分ができるところまでのシートに英語を録音し提出します。

学習者は「学習場所・学習相手・挑戦するシート・録音する順番何にどれだけの時間を費やすか」を自分自身で選ぶことができます。



読むことに困りをして、活動に参加しにくかった生徒が、本時の目標に対する自己目標を設定し、自分のペースで集中して学習する姿がみられました。

音声での指示が通りにくい生徒や文字での指示が通りにくい生徒も、この授業は単元が変わっても学習パターンが同じなので、スムーズに学習活動に参加できていました。



授業の流れ・学習者の学び

☆「My Goal」

- 音読チェック (5分) (C-D)
- A: 初め評価を実施し、すべてのカードの音読を録音できる。
◎は教科書などにも見出しに録音録音できた。
 - B: カードA～Dの音読を録音できている。
1冊目の音読で読み方の確認(初アツシ)である。
 - C: カードA～Dの音読を録音できている。
1冊目の音読で読み方の確認(初アツシ)である。**
 - D: カードA～Dの音読を録音できている。
1冊目の音読で読み方の確認(初アツシ)である。
 - E: カードA～Dの音読を録音できている。

☆「[Check]」
↓
「フィードバック」

☆『聞くこと』『読むこと』を通した「活用・思考」

○配布された教材をもとに録音へ向けた準備を行う。



- 【目標達成へ向けて選べる学び方】
- ・音声を繰り返し聞ける。
 - ・繰り返し練習できる。
 - ・周りの人と相談できる。
 - ・目標を決めて取り組める。

☆『読むこと』に関する「表現」

○時間内に自分のペースで録音を(繰り返し)行う。



- 【目標達成へ向けて選べる学び方】
- ・何度も挑戦できる。
 - ・聞き直して確認できる。
 - ・録音したものを聞き直せる。

Q: あなたにとって、次の4つのうち、どの方法が一番情報を取得しやすいですか？



(実践学級で行った「自分自身が好む情報の取得方法アンケート結果」)

DISCのヒント②

【学習者の認知特性の把握】

DISCでは授業で「指導者の音声による聴覚的な情報」「画像などの視覚的な情報」「文字による言語情報」の3種類の情報を提示します。この3種類に加え、生徒自身が体験したり繰り返し練習したりすることで知識の定着を図りました。年度当初に生徒にアンケートを取ることで、生徒がどのような方法で情報を得やすいと感じているか指導者も理解することができます。

DISC授業③

帯活動教材や教科書など
使いやすい教材の選択

「書く活動」で学び方を選ぶ

中学校 英語科

「意見作文」の場面で…

教材：ワークシート

→設定した目標によって「自分だけで行う」か
「指導者や友人の助けを求めよう」か
「どの教材を使って行うか」を決めることができる。

- ①「教科書 関連ページ（教科書表現の活用）」
- ②「帯活動シート（新出単語）」
- ③「帯活動シート（重要語句）」
- ④「帯活動シート（会話練習）」

時間内に自分の目標に合わせて書く活動を行い、ワークシートを提出する。
時間内（30分間）は教室内であれば「場所・学習相手・挑戦する目標（変更可）」
・順番・参考にする教材」を自由に選ぶことができる。

My Goalの選択で、学習者が
「自分で進めたい」
「指導者に手伝ってもらって進めたい」
を選択します。
その後、教科書や帯活動教材などの
自分が参考にしやすい教材を参考に学
習を進めます。
My Goalは途中で変更できるように
活動の途中で全体に変更を促します。



学習者は、授業の回数を重ねるごとに、自分に適したMy Goalを選択して、自分にとって使いやすい教材を自然と使うようになります。

個別に声をかけて学習の補助をする際に、学習者が授業に感じているバリアを把握して、次の授業以降のMy Goalの作成や教材の工夫に役立てることが期待できます。



授業の流れ・学習者の学び

☆【My Goal】

Today's Goal 今一時的に、自分の意思決定を聞いてください。

Practice2 次のシートに対して、自分の意思決定を聞いてください。(20分)

1. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

2. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

3. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

4. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

5. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

6. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

7. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

8. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

9. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

10. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

11. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

12. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

13. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

14. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

15. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

16. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

17. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

18. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

19. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

20. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

21. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

22. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

23. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

24. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

25. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

26. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

27. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

28. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

29. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

30. 自分が好きな教材を選び、帯活動シートや教科書の中から自分の目標に合った教材を選びます。(15分)

☆『聞く』『読む』を通した「活用・思考」

○自分に合った目標のもと、テーマを理解し考えをまとめる。



【目標達成へ向けて選べる学び方】

- ・自分の目標に合わせて取り組むことができる。
- ・繰り返し質問ができる。
- ・周りの人と相談できる。

☆『書くこと』に関する「得た考えの表現」

○自分に合った目標のもと作文をする。



【目標達成へ向けて選べる学び方】

- ・目標に合わせて挑戦できる。
- ・帯活動で得た知識を含む様々な教材を使うことができる。

☆【Check】+【フィードバック】

「帯活動」でのDISCの実際

Q & A パターン④

質問	回答
1. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
2. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
3. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
4. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
5. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
6. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
7. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
8. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
9. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
10. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
11. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
12. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
13. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
14. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
15. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
16. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
17. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
18. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
19. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
20. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
21. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
22. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
23. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
24. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
25. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
26. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
27. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
28. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
29. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。
30. 帯活動シートは、教科書や教材の中から自分の目標に合った教材を選びます。	はい、そうです。

UNIT 9 新出単語	CLASS No.	新出単語	新出単語
1. neighbor	19	neighbor	隣人、隣接者
2. topic	20	topic	話題、トピック
3. delivery	21	delivery	配達、配達員
4. style	22	style	スタイル、様式
5. speech	23	speech	スピーチ、演説
6. neighbor	24	neighbor	隣人、隣接者
7. topic	25	topic	話題、トピック
8. delivery	26	delivery	配達、配達員
9. style	27	style	スタイル、様式
10. speech	28	speech	スピーチ、演説
11. neighbor	29	neighbor	隣人、隣接者
12. topic	30	topic	話題、トピック
13. delivery	31	delivery	配達、配達員
14. style	32	style	スタイル、様式
15. speech	33	speech	スピーチ、演説
16. neighbor	34	neighbor	隣人、隣接者
17. topic	35	topic	話題、トピック
18. delivery	36	delivery	配達、配達員
19. style	37	style	スタイル、様式
20. speech	38	speech	スピーチ、演説
21. neighbor	39	neighbor	隣人、隣接者
22. topic	40	topic	話題、トピック
23. delivery	41	delivery	配達、配達員
24. style	42	style	スタイル、様式
25. speech	43	speech	スピーチ、演説
26. neighbor	44	neighbor	隣人、隣接者
27. topic	45	topic	話題、トピック
28. delivery	46	delivery	配達、配達員
29. style	47	style	スタイル、様式
30. speech	48	speech	スピーチ、演説

【形容詞・副詞】比較変化③

原形	比較級	最高級
1. good	better	the best
2. bad	worse	the worst
3. happy	happier	the happiest
4. sad	sadder	the saddest
5. tall	taller	the tallest
6. short	shorter	the shortest
7. heavy	heavier	the heaviest
8. light	lighter	the lightest
9. fast	faster	the fastest
10. slow	slower	the slowest
11. hot	hotter	the hottest
12. cold	colder	the coldest
13. big	bigger	the biggest
14. small	smaller	the smallest
15. old	older	the oldest
16. young	younger	the youngest
17. far	farther	the farther
18. near	nearer	the nearer
19. high	higher	the highest
20. low	lower	the lowest
21. deep	deeper	the deepest
22. shallow	shallower	the shallowest
23. wide	wider	the widest
24. narrow	narrower	the narrowest
25. long	longer	the longest
26. short	shorter	the shortest
27. thick	thicker	the thickest
28. thin	thinner	the thinnest
29. full	fuller	the fullest
30. empty	emptier	the emptiest

DISCのヒント③

【教材の工夫（帯活動）】

※授業の最初に継続的に行うルーティンワーク

DISCで授業中に生徒が「選ぶことのできる教材」を増やすために、授業の最初に毎時間帯活動を行います。帯活動では、その単元や教科の目標を達成するために重要となる基礎的な知識とその使い方を、毎時間My Goalを設定して練習します。

実践学級では8割の生徒が帯活動で習得した知識を授業で選ぶことができ、それが役立ったと回答しています。

※資料の詳細は研究課HPに掲載しています。裏表紙のQRコードからアクセスしてください。



学習目標の達成へ向けた学習のプロセスの違いに着目



DISC

Diversity Inclusion System Class

発達障害の特性のある生徒の
多様な学び方を許容し
生徒が学び方を選べる授業

DISC (Diversity Inclusion System Class)
「学び方を選べる授業」

授業UD化

一斉授業において
誰もが学習に取り組み学
習目標の達成を目指す
ようにするための
授業づくり

【指導者主体】

指導者の工夫

教材の工夫

言葉掛けの工夫

UDL

オプションを活用した
「子どもの学び本位」
の授業づくり

【学習者主体】

選択肢

自分が学習しやすい環境

自分が使いやすい教材

自分が目指すべき目標

「授業UD化」→授業のユニバーサルデザイン化 (日本授業UD学会による)
「UDL」→学びのユニバーサルデザイン化 (CAST (アメリカの非営利教育研究開発団体) による)

DISCの基本

【DISC導入の第一歩】

○指導者主体の工夫

教材づくりや学習者への言葉がけについて、視覚優位者・聴覚優位者・言語優位者のそれぞれに対応できるよう留意する。

○学習者主体の環境づくり

学習しやすい環境（座席や教具など）、使いやすい教材（認知特性に対応できる教材）、目指しやすい目標（本時の目標に対応したMy Goalの設定）を授業で行う。

学び方を選べる授業は進化する

導入 3 年目以降



導入 2 年目



導入 1 年目

- ・ 自己目標
- ・ GIGA端末の使い方
- ・ 教材の使い方
- ・ 学習相手や学習場所

生徒の様子を観察して
力を発揮できる選択肢を
探しましょう！

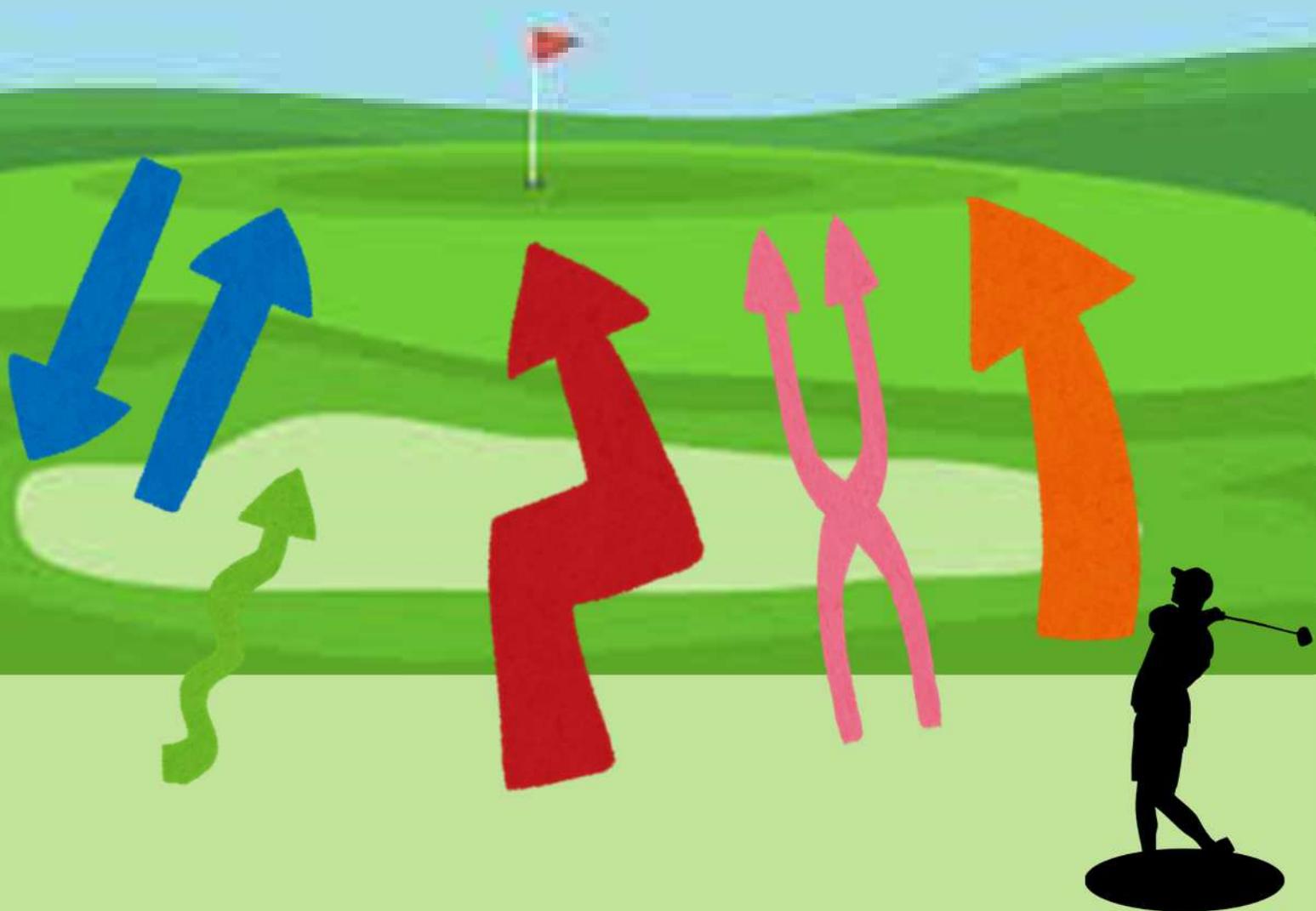


発行 令和7年3月

発行元 京都市総合教育センター
研究課・カリキュラム開発支援センター
〒600-8023
京都市下京区河原町通仏光寺西入ル
TEL 075-371-2705
FAX 075-353-4851

「もっと詳しく知りたい！！」
「データや資料が欲しい！！」
と思った方は、QRコードから
アクセスしてください！！





発達障害等の特性のある生徒が
学び方を選ぶ
授業づくり